



今回はワーキング・ホリデー（以下、ワーホリ）について紹介します。ワーホリとは、相手国との提携に基づき、若い人たちが長期滞在するために必要な就労を認める制度です。

石川英彦さんは26年前、24歳の時に1年間ワーホリでカナダへ行きました。未知の世界に対するワクワク感でいっぱいでしたが、いざ行ってみると仕事が少なく、毎日求人広告を見て手当たり次第に電話をかけて、最終的にガソリンスタンドに就職するまでに3カ月かかったそうです。最初は職場の仲間やお客さんとの英語でのコミュニケーションに苦労したそうですが、会話を通して英語に慣れていきました。



▲ワーホリ先のカナダでツーリングを楽しむ石川さん(左)

週末は趣味のバイクにまたがり、アメリカやアラスカなどにツーリングに行ったそうです。石川さんは「仕事や趣味を通して外国人の友人ができました。ワーホリを経験して広い視野が持てるようになり、大変貴重な体験でした」と話します。石川さんが常に感じていたのは「国は違えど人は皆同じ」ということでした。話をすれば心は通じ、お互いの本質を分かり合えるからです。

石川さんは「当時も今も日本は大変恵まれていて、海外に住むとそのことがよく分かります。日本人は日本人同士で集まってしまうことが多いけれど、現地の人と積極的に触れ合うことが大切です。ぜひ日本ではできないことを体験してほしい」とワーホリの魅力を話します。皆さんも、経験してみたいはいかがですか。



料金受取人払郵便  
差出有効期限  
平成31年4月30日まで  
(切手を貼らずに  
お出しください)

郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

〈受取人〉  
大府市役所  
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。  
ご意見をお聞かせください。

広報広聴課 ☎(45)6214

### 「みんなの声」使い方

- 1 広報紙から切り取ってください。
- 2 アンケート欄に記入してください。
- 3 半分に折り内側全面をのり付けてください。
- 4 ポストに投函してください。

**Q1** 今回の広報おおぶで、文字・色・構成などについて、見やすいと思った記事、見にくいと思った記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

見やすい( ) 見にくい( )

理由

**Q2** 今回の広報おおぶで、面白い・役に立った記事、そうでなかった記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

面白い・役に立った( )  
そうでなかった( )

理由

**Q3** 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

1154

【この号の内容】 ①マンガ広報 ②特集「空き家をめぐると疑問、ここで解決！」 ③市政NEWS ④情報パック ⑤Ellen's Corner ⑥金婚カンコン ⑦みんなにごあいさつ ⑧夢キラリ人 宮下隼輔さん ⑨その他

## 精力的に活動が続けることが 元気の源



**高雄三子子さん・英祺さん**

(76歳・75歳、半月町)

挙式：昭和43年4月21日

(寄り添い50年)

◆出身、馴れ初めは。

【三子子】私は宮崎で、お父さんは京都で生まれて、それぞれ小学生のころに名古屋に越してきました。

【英祺】保険屋さんの紹介で見合い結婚したんだよね。大府には、通勤の都合で、45年前に居着きました。

◆大府にまつわる活動は。

【三子子】何といっても大府ばやし・小唄保存会の活動。もう40年になりますよ。保育園や民間企業などに指導に行ったり、祭りやイベントに呼んでもらったりと、2日に1回は踊っていますね。忙しいけれど、楽しく活動しています。一生現役でいたいですね。

◆続けていることは。

【英祺】現役時によくタイに出張したことが縁で、最近まで10年間、2人のタイの子どもの里親をしていました。現在は2人とも社会人になりましたが、今でも、里子たちとの継続的なつながりを目的に「日タイ交流ツアー」の団長として年に数回は出向き、交流を続けています。彼らが立派に働いていることなどを聞けるのは、うれしいものですよ。

【三子子】私は家庭菜園。特に庭の柿の木には思い入れがあります。実はこの柿、市役所で苗木をもらったんですよ。かれこれ30年、かわいがって育てています。

◆50年を振り返って。

【三子子】やりたいことをやってくられて、満足しています。本当にじっとしていることなく、日々忙しくゴソゴソやってきました。

【英祺】本当に感じるの、体が一番大事だということだよ。



3歳以下のおおぶキッズをご紹介！

掲載希望の方は広報広聴課へご連絡ください。

広報広聴課 ☎(45)6214



ゆま しょうま  
 齊藤 由真さん(左)・匠真さん(右)  
 平成30年3月19日生まれ  
 貴大さん(父) 真子さん(母)

こんにちは！ 由真と匠真、元気な双子です。毎日ミルクをたくさん飲んで、すくすく育っています。早く離乳食を食べてみたい。たくさんお出掛けしてみたい。皆さん、よろしくお願いします！！



ちはる けんじ  
 井上 智遥さん(左)  
 平成27年11月14日生まれ  
 兼作さん(父) 恵子さん(母)

プリキュアが大好きな、ちいちゃんです☆ じゃんけんは2歳だからチョキ！！ 負けてもちいちゃんの勝ち！？ もうすぐ3歳♪ 紗希姉ちゃんと仲良く、笑顔がステキな女の子になってね♪

### 広報おおぶの紙面を飾ってくださる方を大募集！

募集しているのは、「金婚カンコン」「みんなにごあいさつ」「表紙などの読者モデル」。

掲載された方には、掲載した写真を、広報おおぶの表紙風に加工してプレゼント。記念に1枚いかがですか？ 詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 広報広聴課 ☎(45)6214



## かけがえのない仲間と出会えた野球に感謝

宮下 隼輔<sup>しゅんすけ</sup>さん

8月2日～11日にオーストラリアのシドニーで開催された2018世界少年野球大会に、日本代表の一員として出場した宮下隼輔さん。4番サードで出場してチームを引っ張り、準優勝に大きく貢献しました。

大会について「日本を背負う気持ちで戦った。優勝こそ逃したものの、すごく良い仲間とプレーすることができた」と振り返り、「外国人投手の見慣れない球種にも、持ち前のミート力と長打力で対応することができた」と世界に通用する部分に手応えを感じます。

野球を始めたのは小学3年生のころ。近所の公園でお父さんとキャッチボールをしていたときに、少年野球のコーチに声を掛けられたのがきっかけと話します。野球の魅力について「チームプレーと礼儀。みんなで連携しなければできないことがあるし、人として大切なこともたくさん教わった」と話し、野球に感謝の気持ちを表します。

同年代のトップレベルで活躍を続ける宮下さんは自身の性格を「一途」と話し、定めた目標に向け全力で突っ走る姿勢は負け

ず嫌いなプレースタイルに大きく表れます。また、常に研究や努力を惜しみません。自身を体が特別大きい訳ではないと分析する宮下さんは「他の人と同じことをやっていてもだめ。ミートが難しい木製バットを練習で使ったり、自分の打席を動画で見て、好調時の仕草をルーティンにしたりしている。相手に飲まれずに自分のペースに持ち込むことが大事」と話します。

将来について「プロになって、子どもたちに『宮下みたいになりたい』と思ってもらえるような選手になりたい」と夢見るスラッガーは、その実現に向けて今日もバットを振り続けます。



ラグビー観戦が大好きな私。来年開催のワールドカップもとても楽しみです。なんとか生で観戦したいと、チケットの抽選申し込みをしているのですが、なかなか当たりの連絡が届きません。3回目チャレンジの結果発表は今月末。来年の秋は、豊田スタジアムでジャージを着て応援しているはず～！！！！(加)